

【様式 1 - 1】

島牧村 長寿命化修繕計画（変更）

平成28年 12月
（平成30年 1月改定）

島牧村 施設課

1. 長寿命化修繕計画の目的

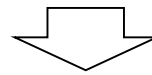
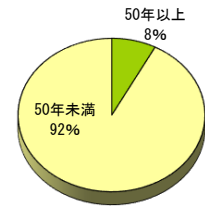
1) 背景

本村が管理する橋梁は、平成28年度現在で26橋架設されている。

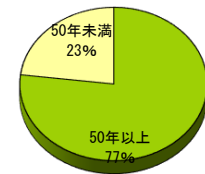
このうち、建設後50年を経過する橋梁は、全体の8%を占めており、20年後の平成48年には、77%程度に増加する。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念される。

平成28年度
2橋
(8%)



平成48年度
20橋
(77%)



2) 目的

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となる。

コスト縮減のためには、従来の対症療法型から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う” 予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要がある。

そこで本村では、将来的な財政負担の低減及び道路交通安全性の確保を図るために橋梁長寿命化修繕計画を策定する。

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	1 級村道	2 級村道	その他の村道	合 計
全管理橋梁数	11	10	5	26
うち計画の対象橋梁数	11	10	5	26
うちこれまでの計画策定橋梁数	11	10	5	26
うち平成28年度計画策定橋梁数	11	10	5	26

長寿命化修繕計画の対象：

- ・長寿命化修繕計画の対象橋梁は、全橋26橋とする。
- ・修繕計画は、損傷の著しい橋梁及び重要路線である 1 級村道と 2 級村道を優先する。

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的方針

定期点検（概略点検）や日常的な維持管理によって得られた結果に基づき、橋梁の損傷を早期に発見するとともに健全度を把握する。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

パトロール車による走行面の変状について点検を行う。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

1) 基本的な方針

村が管理する橋梁の中で、架設後 30～50年経過した橋梁は全体の約 77%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想される。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100 年間とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減する。優先度についてはWebBMSにより出力される補修対象年の早い順及び交通量等から優先度を付けて補修を行う。ただし、伸縮装置、支承については定期交換部材としているため対象から除外する。また、函渠・優先度の低い橋の今後の対策は経過観察とする。

詳細点検結果に基づく橋梁の健全度把握及び損傷状況に応じて橋梁長寿命化修繕計画を見直す。

2) 対象橋梁の状態

対象橋梁の点検・診断結果は、別紙対象施設一覧による。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

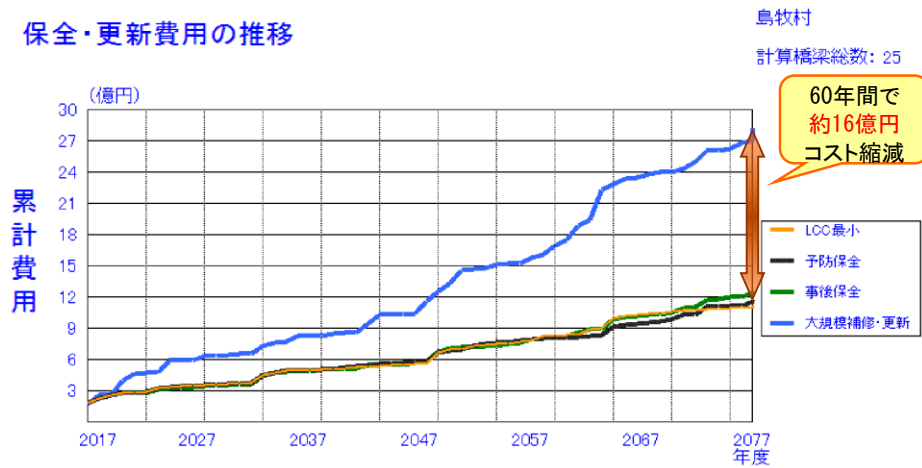
様式1-2による。

6. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定した26橋について、今後60年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が約28億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が約12億円となり、コスト削減効果は16億円となる。

また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保される。

保全・更新費用の推移



7. 計画策定担当部署及び意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

鳥牧村 施設課 Tel : 0136-75-6272

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

北海道大学 名誉教授 大沼 博志

